

債券・為替 ウィークリーレポート



カナダ



ブラジル



メキシコ



オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー



南アフリカ


















インドネシア



インド

市場概要・見通し（カナダ、ブラジル、メキシコ）

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		6/26 （6/19との比較）	6/26 （6/19との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
カナダ 	AAA	0.51% （▲0.03）	78.33円 （▲0.26%）	-0.9% 2020年1Q	0.25%	発表された景況感指数は前月比で改善。原油価格が在庫増加で反落し、Fitch がカナダの外貨建て債券の格付けをAAAからAA+に引き下げ中、カナダドルは対円で下落。国債利回りは低下。	GDP（国内総生産）などが発表予定。新型コロナウイルスの資源価格への影響から目が離せないものの、金融緩和による経済下支え効果が続く中、債券・為替市場は比較的狭いレンジ内で一進一退の展開が続くと予想。
	Aaa	 金利横ばい	 金利横ばい	 景気鈍化	 据え置き局面		
ブラジル 	BB-	5.24% （▲0.02）	19.55円 （▲2.81%）	-0.3% 2020年1Q	2.25%	特に注目すべき経済指標の発表は無し。GDP成長率の2020年見通しを中銀が0.0%から▲6.4%に引下げ、IMF（国際通貨基金）も▲9.1%に引下げ中、レアルは対円で下落。国債利回りは小幅低下。	登録雇用創出合計や失業率、鉱工業生産などが発表予定。同国の新型コロナウイルスの新規感染者が高水準で推移する中、ブラジルレアルは引き続き値動きの激しい展開が続くと予想。
	Ba2	 金利低下	 金利低下	 景気鈍化	 利下げ局面		
メキシコ 	BBB+	4.91% （▲0.15）	4.65円 （▲1.51%）	-1.4% 2020年1Q	5.00%	発表された小売売上高が市場予想以上に減少したほか、中銀が市場予想通り5.50%から5.00%に利下げする中、メキシコペソは対円で下落。国債利回りは低下。	景気先行指数などが発表予定。米国向け輸出の急減と原油価格の低迷を受けて、金利は低下基調となる中、新型コロナウイルスの感染状況を睨みつつ、メキシコペソは短期的に弱含みを予想。
	Baa1	 金利低下	 金利低下	 景気鈍化	 利下げ局面		

出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（カナダ：10年、ブラジル：4年、メキシコ：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
















※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。

※政策金利については、カナダ：翌日物貸出金利、ブラジル：Selicレート、メキシコ：翌日物金利を表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		6/26 （6/19との比較）	6/26 （6/19との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
オーストラリア 	AAAu	0.87% （+0.00）	73.61円 （+0.76%）	+1.4% 2020年1Q	0.25%	発表された製造業PMI（購買担当者景気指数）は、前月を上回る結果。リスクセンチメントに左右されつつ、月末を控えて様子見の動きとなり、豪ドルは対円で上昇。国債利回りは横ばい。	貿易収支などが発表予定。経済活動再開の動きや資源価格の動向だけでなく、豪中両政府の外交姿勢に注目が集まる中、債券・為替市場ともに一進一退の展開が続くと予想。
	Aaa	 金利横ばい		 景気鈍化	 据え置き局面		
ニュージーランド 	AA+	0.94% （+0.04）	68.88円 （+0.59%）	-0.2% 2020年1Q	0.25%	中銀が政策金利を予想通り据え置き。声明文で通貨高や量的緩和拡大の可能性に言及したことでニュージーランドドルは対円で一時下落する局面もあったが、前週比では上昇。国債利回りは上昇。	企業景況感指数などが発表予定。新型コロナウイルスの抑制が比較的順調であり、総選挙まで3カ月を切り経済政策などへの期待が高まる中、ニュージーランドドルは底堅い展開が続くと予想。
	Aaa	 金利横ばい		 景気鈍化	 据え置き局面		
ノルウェー 	AAA	0.68% （+0.01）	11.02円 （▲0.54%）	+1.1% 2020年1Q	0.00%	小売売上高は予想を上回り、前月比でプラス。労働力調査による失業者は、予想以上に悪化。原油価格が在庫増加で反落する中、ノルウェークローネは対円で下落。国債利回りは小幅上昇。	失業率や製造業PMIなどが発表予定。中銀が2022年に利上げする想定であり、ノルウェークローネは底堅い展開を予想。金利についても低下幅は限定的となることを予想。
	Aaa	 金利横ばい		 景気鈍化	 据え置き局面		

出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる本国通貨建て長期債格付を表示。

※2 10年国債利回りを表示。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
















※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。

※政策金利については、オーストラリア：キャッシュレート、ニュージーランド：オフィシャル・キャッシュレート、ノルウェー：デポジットレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		6/26 （6/19との比較）	6/26 （6/19との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
南アフリカ 	BB	5.06% （▲0.03）	6.20円 （+0.58%）	-0.5% 2019年4Q	3.75%	失業率は予想を若干上回る30.1%となり、CPI（消費者物価指数）コアは前月比▲0.2%に低下。小売売上高は予想を上回り改善する中、ランドは対円で上昇。国債利回りは低下。	GDPなどが発表予定。IMFがGDP成長率の2020年見通しを▲8.0%に引き下げたが、新型コロナウイルスの感染拡大がどのような影響を与えるか注目が集まる中、ランドは一進一退の展開を予想。
	Ba1	 金利横ばい		 景気鈍化	 利下げ局面		
インドネシア 	BBB	6.57% （▲0.12）	0.75円 （▲0.74%）	+3.0% 2020年1Q	4.25%	特に注目すべき経済指標の発表は無し。ジョコ大統領が新型コロナウイルス対策で増額された補正予算に署名する中、インドネシアルピアは対円で下落。国債利回りは低下。	消費者信頼感指数やCPIなどが発表予定。新型コロナウイルスの感染第二波への懸念が高まり、観光業など経済活動の再開に注目が集まる中、債券・為替市場ともに一進一退の展開が続くと予想。
	Baa2	 金利横ばい		 景気鈍化	 利下げ局面		
インド 	BBB-u	5.36% （▲0.04）	1.42円 （+1.04%）	+3.1% 2020年1Q	4.00%	特に注目すべき経済指標の発表は無し。IMFはGDP成長率の2020年見通しを▲4.5%に引下げ。中印国境での緊張の高まりで対中関税の引上げが議論される中、インドルピーは対円で上昇。国債利回りは低下。	特に注目すべき経済指標の発表は無し。新型コロナウイルスの感染拡大の状況と、中印両政府の外交姿勢に注目が集まる中、インドルピーは一進一退の展開が続くと予想。
	Baa3	 金利横ばい		 景気鈍化	 利下げ局面		

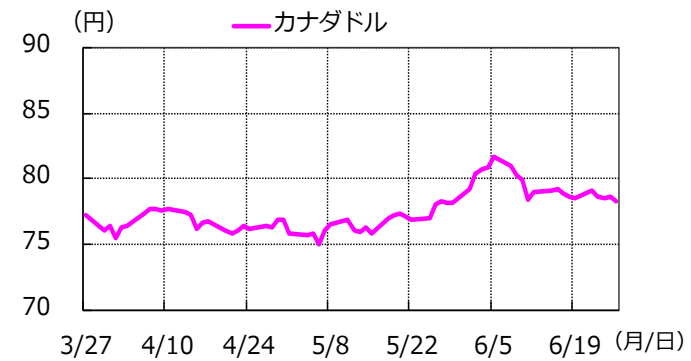
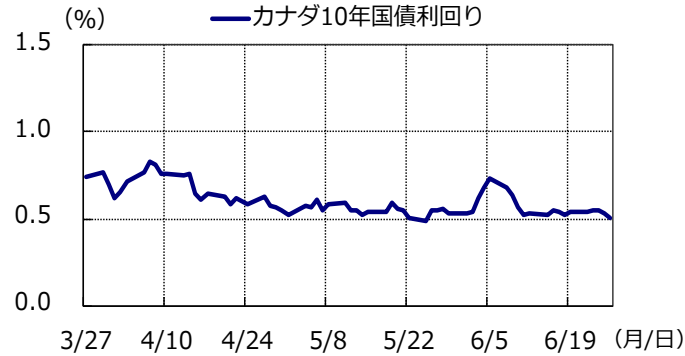
出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

- ※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる本国通貨建て長期債格付を表示。
- ※2 国債利回りを表示（南アフリカ：3年、インドネシア：5年、インド：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。
- ※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
- ※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。
- ※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。
- ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。
- ※政策金利については、南アフリカ：レポレート、インドネシア：7日物リバースレポ金利、インド：レポレートを表示。

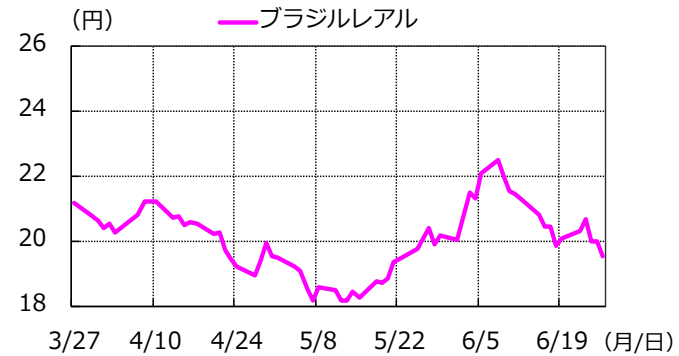
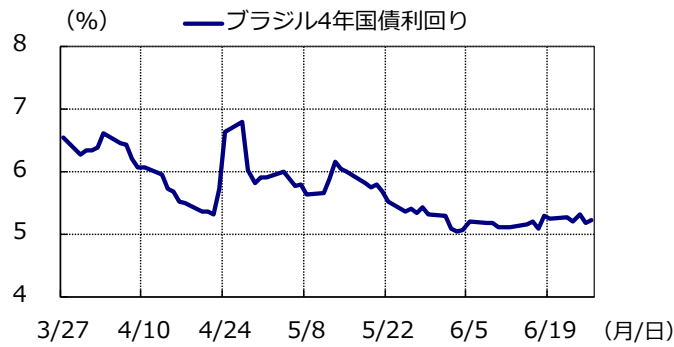
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2020/3/27~2020/6/26

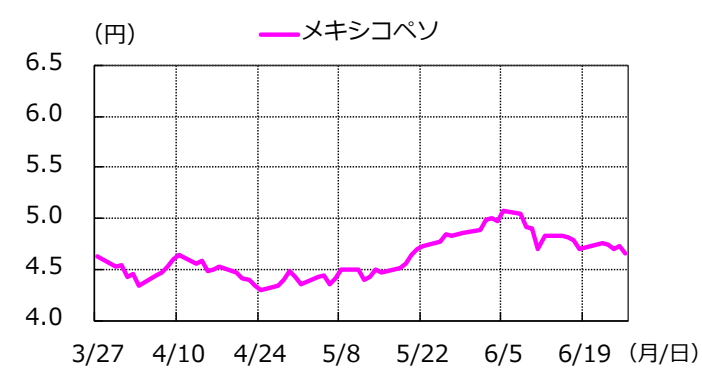
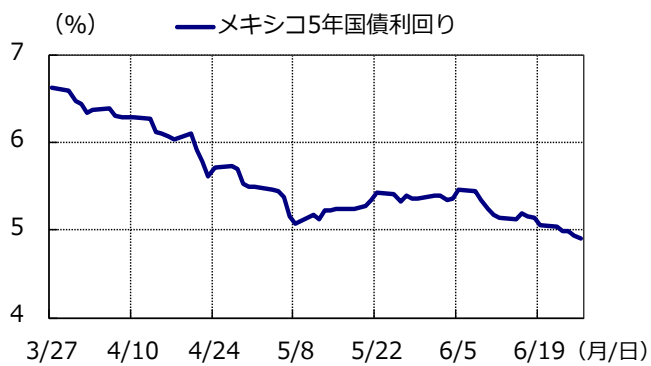
カナダ



ブラジル



メキシコ

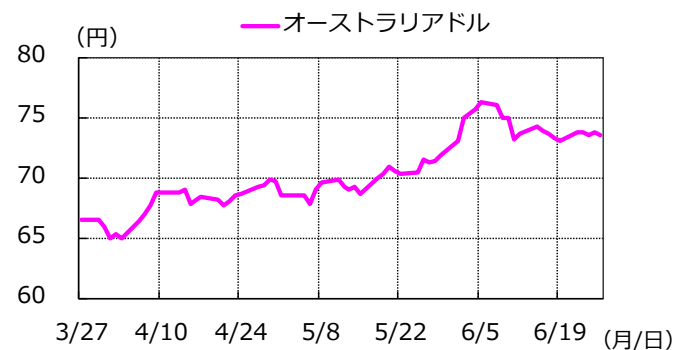
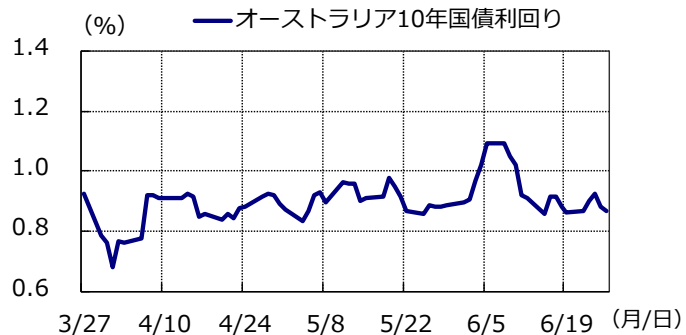


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

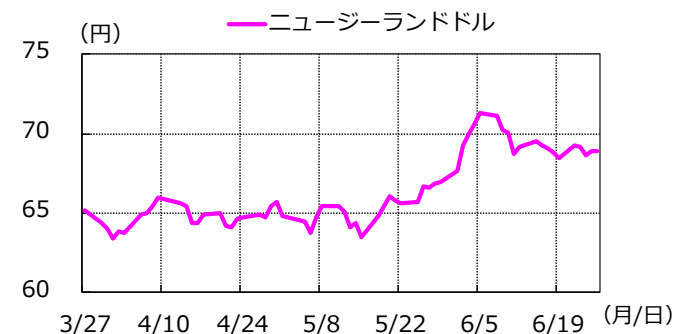
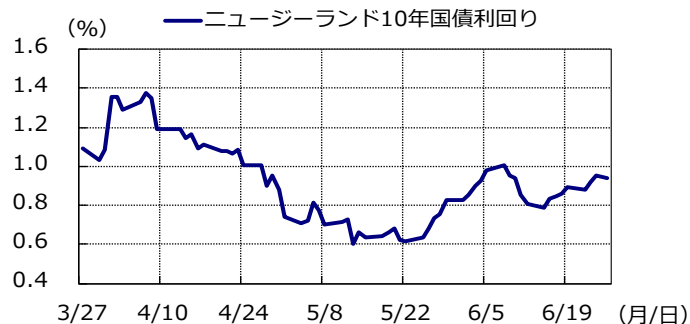
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2020/3/27~2020/6/26

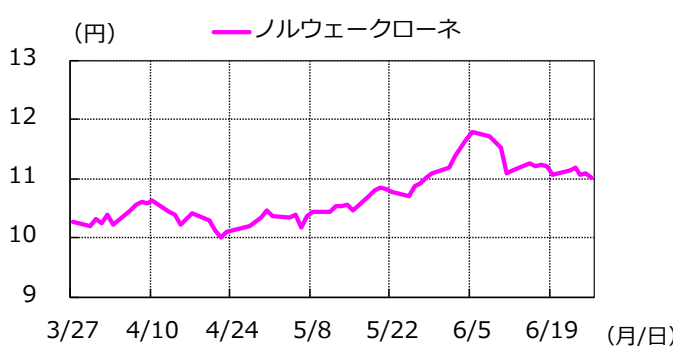
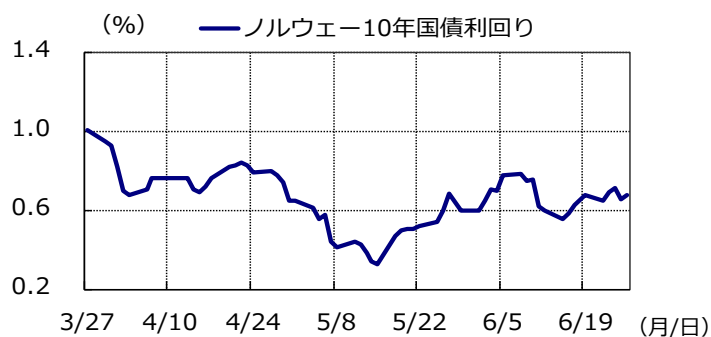
オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー

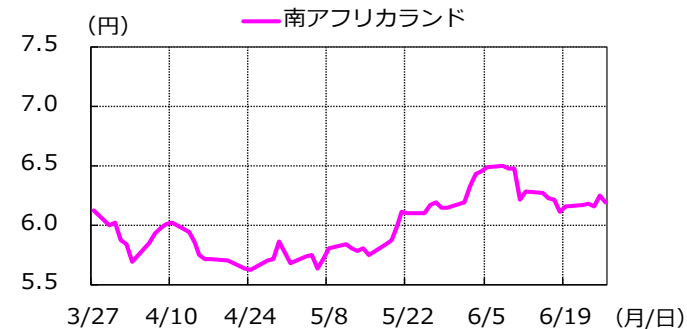
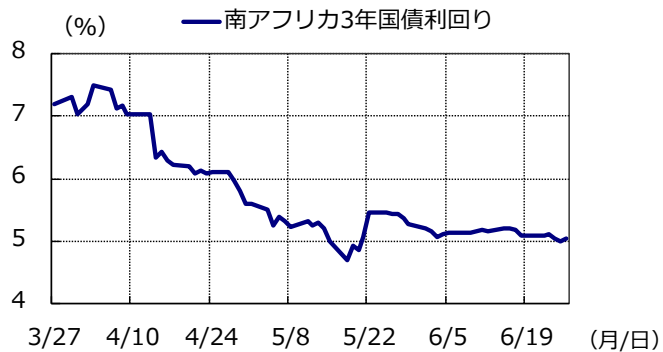


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバークのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

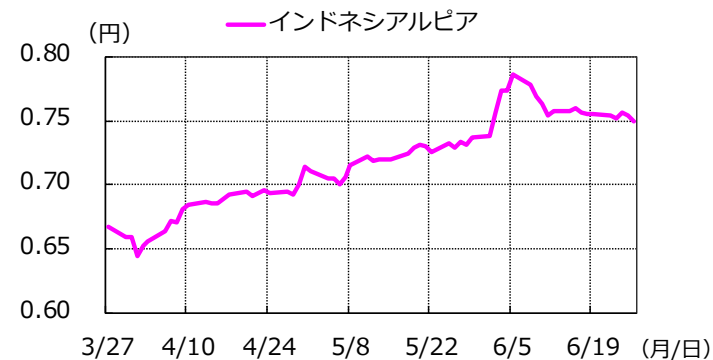
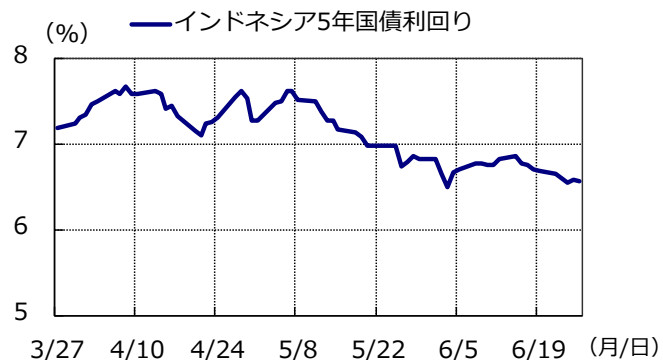
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2020/3/27~2020/6/26

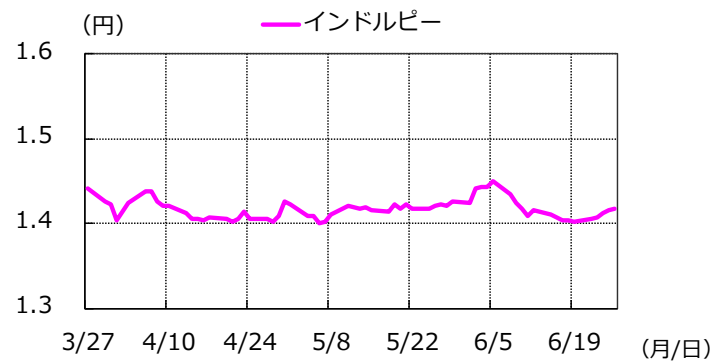
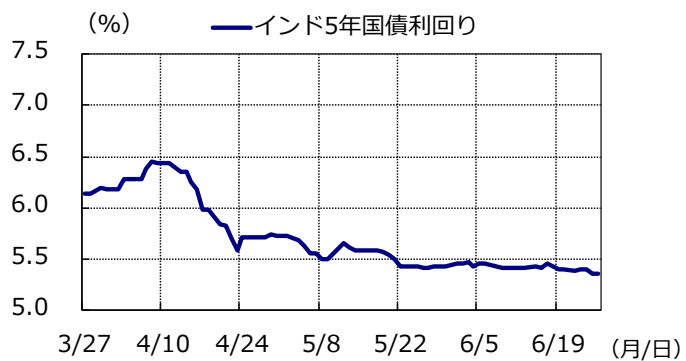
南アフリカ



インドネシア



インド



※インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。 ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバークのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.85%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.09%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡しますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。

2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。